



令和 2 年 12 月 柿崎小学校発行

## 柿崎小学校の働き方改革の推進について

校長 近藤 隆司

「上越市立学校運営管理に関する規則の一部改正」(案)を受けて、柿崎小学校においても働き方改革を一層推進してまいります。具体的には、令和 3 年度より以下の取組を推進してまいります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

### 1 勤務時間の上限の目安

- (1) 1 ヶ月の在校等時間の総時間から、正規の勤務時間 (08:15~16:45) を除いた時間が、45 時間を超えないようにする。
- (2) 1 年間の在校等時間の総時間から、正規の勤務時間を除いた時間が、360 時間を超えないようにする。

### 2 柿崎小学校の今後の具体的な取組について

- (1) 諸会議等の開催時間の設定について  
非常災害の場合、児童の指導に関し緊急の措置を必要とする場合を除き、原則以下のようにする。
  - ① 職員会議及び職員研修等の諸会合は勤務時間内 (16:45 まで) に終了する。
  - ② 保護者との面談及び個別懇談等は勤務時間内に終了するよう調整する。
  - ③ P T A 等の会合や活動は、遅くとも午後 6 時 30 分までとする。また、職員の勤務の振替ができない週休日や祝日の勤務 (活動や行事等) は行わないこととする。(必要に応じて P T A 執行部等と協議する)
- (2) 課外活動について
  - ① 音楽部  
児童数の減少に伴い、活動継続が困難になってきている。併せて、楽器の老朽化に伴い、使用不能の楽器が増えるとともに、楽器修理費が増加してきていることから、令和 2 年度末をもって活動を終了する。
  - ② 体育部  
令和 3 年度の親善陸上大会、上越地区陸上競技大会等の実施状況を鑑みながら、競技種目の練習を体育授業の内容として行うこととするので、放課後等に行っていた体育部としての活動は行わない。令和 2 年度末をもって活動を終了する。
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策、及び熱中症対策等を考慮した学校行事や学年行事のについて
  - ① 入学式、卒業式は上越市教育委員会の指示を受けて、時間、式次第、参加者等決定して開催する。
  - ② 運動会は競技種目や開閉会式の運営を検討して午前開催とする。
  - ③ 「海っ子フェスティバル」は、「海っ子音楽会」(午前開催)と「作品展示」に分けて開催する。(令和 2 年度から実施)
  - ④ 米山登山について、近年の熊の出没、自然災害等の現状を鑑みながら、児童や職員の負担を考慮して今後の実施方法等を柿崎区校長会で情報交換している。
  - ⑤ 学習参観等は、「3密」の回避 (密集、密接、密閉) をしつつ、来校者の皆様にはマスクの着用、体温測定をお願いした上で実施したい。

# はまなす学級 生活単元学習紹介

はまなす学級では、「友だちとなかよし・自然となかよし・地域となかよし」をテーマに、子どもたちの興味や関心を大切にしながら、実際の生活に結びつくような様々な体験活動を行っています。その中から2つの活動を紹介します。

## 9月 はまなす校外学習

9月16日に電車とジャンボタクシー、スクールバスを利用して、校外学習に出かけました。行き先は、柏崎の「夢の森公園」です。丸太切りやシグソーパズル作り、ビンゴカードでの生き物探し、レストランでの食事など、仲間と一緒に楽しみながら、様々なことを体験しました。事前学習での練習により、子どもたちは自信をもって、自分で切符を買ったり、レストランでの注文や支払いをしたりすることができました。また、マナーを守って、乗り物や公共施設を利用する姿が見られました。6年生は、ホームの待合室の席が足りないと、自分が座っていた席を下級生に譲るなど、リーダーらしく下級生を思いやって行動することができました。



## 10・11月 さつまいもの収穫・プレゼント



楽しみにしていたさつまいも掘り。どんなお芋が出てくるかドキドキして掘りました。一人で掘れない大きなお芋があると、「手伝うよ」と声を掛け合い、力を合わせて掘りました。お芋を掘り出す



たびに「とれた!」「わあ、でっかい!」と、歓声が上がりました。大小様々なお芋が80個以上もとれました。

子どもたちと収穫したお芋の使い道を考え、一部を先生方にプレゼントすることにしました。心を込めてメッセージカードを書き、お芋を詰めた袋に貼りました。一人一人が「ぼくたちが作ったさつまいもです。食べてみてください。」などと、お世話になっている先生方に手渡しました。「喜んで受け取ってくれて、うれしかったです。」「先生のうれしそうな顔を見て、プレゼントをしてよかったと思いました。」などと、達成感を味わうことができました。



# きまを守って楽しい冬休みに！

いよいよ子どもたちが楽しみにしている冬休みに入ります。この冬休みは、年末・年始という一年の大きな節目を迎える時でもあります。子どもたちが新しい年への希望をもつとともに、家族や地域の人々との心の触れ合いを深め、有意義に過ごしてくれることを願っています。学校では、子どもたちに冬休みの過ごし方について下記のように指導いたしました。あらためてご家庭でも、事故やけがのない楽しい冬休みを過ごすことができますよう、お子さんにあつた指導をお願いします。



## 1 健康な生活をしよう

○毎日きちんとした生活のリズムで過ごしましょう。

(「早寝・早起き・朝ごはん」、きまりよい食生活、歯みがきの励行など)

○新型コロナウイルス・インフルエンザ感染に気を付けましょう。

●手洗い ●マスク ●毎朝、体温をはかる ●人とのきよりをあける

○テレビ・ゲーム等、メディア漬けの生活にならないよう、楽しむ時間を決めましょう。

※オンラインゲームについても今一度ご家庭でお子さんと話をして、約束を決めてください。

## 2 きまり正しい生活をしよう

○自分から進んで計画を立てて学習しましょう。

○外出、家の外での遊び、友達との遊びについては、お家の人と相談しましょう。

○外出するときは、行き先、用件、帰る時刻などを告げて出かけましょう。

○朝の9時までは友達の家遊びに行ってもいいです。夕方4時30分までには家に帰ります。

○友だちの家や出かけた場所のマナーを守りましょう。

○お年玉の使い方は、家の人と相談して決めましょう。

○お店では、子どもだけで歩き回ったり、買い食いをしたりしません。

○ゲームセンターへ出入りしてはいけません。ゲームコーナーやカラオケは保護者同伴でもなるべく行かないようにしましょう。

## 3 安全な生活をしよう

○雪があるときは遊び場所や遊び方に気を付けましょう。

○雪が降っている時や雪のある道路では自転車に乗りません。

○キックスケーターなどローラーのついた乗物は道路や歩道で乗りません。

○火いたずら、火遊びは絶対にしません。

○知らない人に誘われても決してついて行ってはいけません。「いかのおすし」を守り、不審者にあつたら、まず警察に連絡しましょう。

※SNS 上で知り合った人と会う約束はしません。



## 4 家族や地域の一員として自覚をもって生活しよう

○気持ちを込めたあいさつ（新年のあいさつや訪問時等も）や返事、仕事を進んでしましょう。